

フリマでリサイクル推進
衣類や雑貨など 77 区画出店



▲買い物を楽しむ来場者でにぎわいました

11月13日、函南町役場駐車場でフリーマーケットが行われ、77区画の店舗が出店しました。

会場では、衣類やバッグ、靴、おもちゃ、食器、レコードなどさまざまな品物が販売され、目当ての品を求める大勢の来場者でにぎわいました。

この他に液肥の無料配布、ふじのくにエコチャレンジ実行委員会による「ちょいエコ宣言」のアンケート、ごみについて考えるコーナーなどが行われ、3R（リユース、リデュース、リサイクル）についての啓発も行われました。

フェスタで楽しく体を動かす
「スポーツのまち函南」を宣言



▲スポーツ少年団対抗リレーで盛り上がりました

11月6日、かなみスポーツ公園でスポーツ健康フェスタ 2016 が行われました。

同フェスタは、体を動かす楽しさを体験する町民参加型のイベントで、スポーツへの参加促進や普及することを目的に行われ、約700人が参加しスポーツ少年団対抗リレーや綱引き、パン食い競争などで汗を流しました。

また、町内のスポーツ振興に向け、老若男女がスポーツに親しみ、トップアスリート育成や裾野拡大で活力あるまちづくりを目指す「スポーツのまち函南」宣言の発表を行いました。

地域活性化や連携強化を探る
道の駅開業予告フォーラム

11月20日、函南町文化センターで5月にオープン予定の道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の開業予告フォーラム「伊豆地域活性化」が行われました。

同フォーラムでは、道の駅名誉駅長の財部誠一さん（経済ジャーナリスト）、米倉誠一郎さん（一橋大学イノベーションセンター教授）の基調講演に続き、「活力ある伊豆半島に向けて今『伊豆ゲートウェイ函南』に必要なものとは」をテーマにパネルディスカッションが行われ、伊豆地域の活性化や連携化、伊豆ゲートウェイ函南には何が必要かなどの討論をしました。



▲道の駅についてのパネルディスカッション

秋の火災予防週間
消防車から防火を呼びかける

11月6日、秋の全国火災予防週間（11月9日～11月15日）を前に町内で火災予防運動防火パレードが行われました。

パレードには、西小学校6年生10人、函南町消防団、田方北消防署が参加しました。

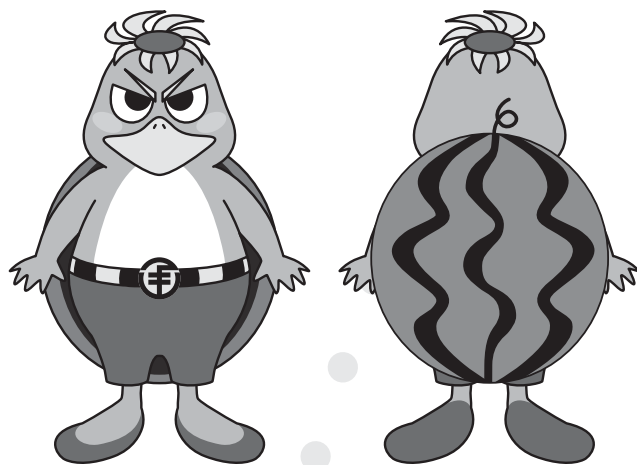
参加した小学生は消防車に分乗して「消しましょう その火その時 その場所で」などの標語で防火を呼びかけ、町内を消防車で巡回しました。

また、町内のスーパーなどで函南町女性消防団員により、火災予防の啓発を行いました。



▲消防車の前で敬礼する西小学校の6年生

函南の道と狩野川の守り神
マスコットキャラ「マモリくん」に決定



デザインを発表したマスコットキャラクターは、函南の道と狩野川の守り神の「マモリくん」です。

マモリくんは、狩野川と流域を守るカッパの姿をした神様で、地域や住民、訪れる人をいつも守りたいと願っているなどのプロフィール設定で、陸にあがって走ったり、相撲を取ったりと活発で、伊豆各所の名産品を食べるとその食べ物に合わせて背中の中がスイカやシイタケ、伊勢エビなどに変化し、伊豆の魅力をPRしていきます。

同キャラクターには県内外から231点の応募があり、選考委員会で決定しました。

道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」
国交省から登録証が伝達



▲梅村国土交通省沼津河川国道事務所長から「道の駅」登録証が手渡されました

11月7日、来年5月にオープン予定の道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の登録伝達式が函南町役場で行われました。

同道の駅は、10月に県内24か所目の「道の駅」に登録され、一昨年の1月には伊豆地域8つの道の駅で構成する「伊豆道の駅ネットワーク」が国の重点「道の駅」に選定されています。

「伊豆ゲートウェイ函南」は、東駿河湾環状道路函南塚本インターチェンジ近くに整備中で、伊豆各地の地場産品の物産所や伊豆地域の観光案内施設などを備える予定です。